

ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤 ゲッター水和剤	取扱メーカー： 協友アグリ，住友化学， 日本曹達 原体メーカー： 住友化学，日本曹達
成分： ジエトフェンカルブ……………12.5% チオファネートメチル〔ベンズイミダゾール系 PRTR・1種〕…52.5%	性状： 類白色水和性粉末45μm以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 初めて負相関交差耐性を利用した殺菌剤で，灰色かび病に対して，ベンズイミダゾール感受性菌については，チオファネートメチルが，耐性菌についてはジエトフェンカルブが効果を示し，耐性菌と感受性菌を同時に防除できる薬剤である。
- 予防効果，治療（病斑進展阻止）効果，残効性及び浸透移行性などの諸特性を備えている。
- チオファネートメチルは幅広い殺菌スペクトラムを持っているので，灰色かび病と混発する他病害との同時防除が期待できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 優れた残効性を生かし，発病前～発病初期の予防的使用がより安定した高い防除効果を発揮する。
 - トマトの灰色かび病に対する効果は約14～20日間である。
 - みかんの灰色かび病防除は満開期から落弁期にかけ1～2回散布する。そうか病と同時防除を行う場合は落弁期に重点をおき，2～3回散布する。
- 病気に感染しやすい部分（花卉，幼果，葉など）に薬液が十分かかるように注意して薬剤散布を行う。薬液の付着しにくい作物では展着剤を添加する。

- 同じ作用性の薬剤を過度に連用せず，作用性の異なる薬剤と体系で使用する。
- 耕種の防除と組み合わせて使用する。
- だいたいの紫斑病に対しては，落花後～若英期に2～3回散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤，ボルドー液との混用はさける。
- 散布量は，対象作物の生育段階，栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
- 適用作物（きゅうり，ぶどう）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8，適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- 共通注意事項6，街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 桑葉にかからないよう注意する（蚕毒）。



【適用と使用方法】

作物名	適用 病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジエトフェンカルブを 含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数	
み か ん	灰色かび病	1000～ 2000 倍	200～ 700 ℓ	開花期	5 回 以内	散布	5 回以内	8 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布、空中散布及 び無人航空機散布 は合計 5 回以内)	
	そうか病	1000～ 1500 倍		7 日前まで					
か ん き つ (みかんを除く)	灰色かび病	1500～ 2000 倍		開花期					8 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布は 5 回以内)
	そうか病	1500 倍		21 日前まで					
ぶ ど う	灰色かび病	1000～ 1500 倍		45 日前まで	1 回		3 回 以内	3 回以内	5 回以内 (塗布は 3 回以内、 休眠期の散布は 1 回以内、生育期の 散布は 1 回以内)
う め	黒星病	1000 倍		21 日前まで					6 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布は 3 回以内)
	か き	灰色かび病		1000～ 1500 倍	7 日前まで				4 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 3 回以内)
落葉病 炭疽病				10 回以内 (塗布は 3 回以内、 休眠期の散布は 1 回以内、生育期の 散布は 6 回以内)					
い ち ご	炭疽病	1000 倍		100～ 300 ℓ	収穫開始 21 日前まで				6 回以内
だ い ず	紫斑病	乾燥種子 重量の 0.5%		—	は種前	1 回	種子 粉衣	4 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)	4 回以内 (種子への処理は 1 回以内)
		1000 倍	14 日前まで	3 回 以内	4 回 以内				
いんげんまめ	灰色かび病	1000～ 1500 倍		4 回 以内		5 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 4 回以内)			
	菌核病	1000 倍					7 日前まで	3 回 以内	3 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 3 回以内)
	炭疽病		前日まで		4 回 以内				
え だ ま め	紫斑病 英汚損症	1500 倍		14 日前まで		4 回 以内	5 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 4 回以内)		
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病		100～ 300 ℓ		10 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 3 回以内)				
あ ず き		1000～ 1500 倍		4 回 以内		5 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後 は 4 回以内)			
	菌核病	1000 倍	7 日前まで		5 回 以内		5 回以内 (種子への処理は 1 回以内、苗根部浸漬 は 1 回以内、無人航 空機散布は 3 回以 内、散布は 5 回以内)		
	輪紋病 炭疽病	1500 倍							
た ま ね ぎ	灰色腐敗病	1000 倍		7 日前まで	5 回 以内				

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジェトフェンカルブを 含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数							
ト マ ト	灰色かび病 菌核病	1000～ 1500倍	100～ 300 ℓ	前日まで	5回 以内	散布	6回以内	6回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は5回以内)							
ミニトマト	葉かび病	1500倍			3回 以内		3回以内								
な す	灰色かび病 菌核病 黒枯病	1000～ 1500倍			5回 以内		5回以内								
き ゆ う り	褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病	1500倍													
す い か	炭疽病	21日前まで													
レ タ ス	菌核病 灰色かび病	7日前まで		2回 以内	4回以内 (種子への処理は 1回以内、灌注は 1回以内、散布は 2回以内)										
キ ャ ベ ツ	菌核病			3回 以内			3回以内	3回以内 (種子への処理は 1回以内、散布は 2回以内)							
ズ ッ キ ー ニ	灰色かび病							4回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は3回以内)							
花き類・観葉植物 (ひまわり、ゼラ ニウムを除く)		1000倍		—	5回 以内		5回以内								
ひ ま わ り ゼラニウム	灰色かび病 斑点病			感染期～ 発生初期											
樹 木 類 (ハイドランジア、 やなぎを除く)	灰色かび病	200～ 700 ℓ													
や な ぎ	炭疽病	—													
ハイドランジア	輪斑病 灰色かび病	感染期～ 発生初期													